



# 日语

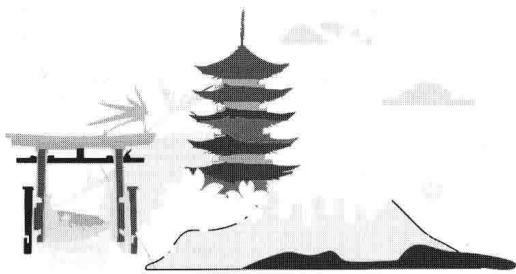
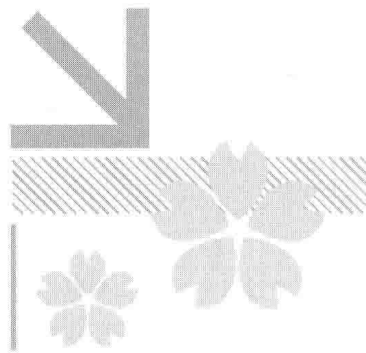
## 阅读教程

主编 刘霞 陈苗君



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社



# 日语

## 阅读教程

主编 刘霞 陈苗君



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社

## 图书在版编目(CIP)数据

日语阅读教程/刘霞,陈苗君主编. —武汉:武汉大学出版社,2018.6  
ISBN 978-7-307-20315-0

I. 日… II. ①刘… ②陈… III. 日语—阅读教学—高等学校—教材  
IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2018)第 133913 号

责任编辑:谢群英

责任校对:汪欣怡

版式设计:汪冰滢

---

出版发行:武汉大学出版社 (430072 武昌 珞珈山)

(电子邮件:cbs22@whu.edu.cn 网址:www.wdp.com.cn)

印刷:武汉中科兴业印务有限公司

开本:787×1092 1/16 印张:17 字数:351千字 插页:1

版次:2018年6月第1版 2018年6月第1次印刷

ISBN 978-7-307-20315-0 定价:40.00元

---

版权所有,不得翻印;凡购买我社的图书,如有质量问题,请与当地图书销售部门联系调换。

## 编者的话

本教程为专业阅读教程，并按日语能力测试(JLPT: Japanese Language Proficiency Test)的标准和新题型要求编写而成。其宗旨是帮助广大学生和读者在学习的过程中熟悉时事动向、强化训练、不断提高综合阅读水平。本教程由技巧篇和实践篇两部分组成。其中，技巧篇共有十课，主要介绍阅读过程中常见的问题对策；实践篇由十二课组成，每课均含词汇、语法及问题的讲解，所选文章和例句紧跟时代潮流，也是广大学生获得日语能力等级考试高分的自学参考书。本书具有以下几个特点：

1. 按照日语教育语法体系对相关词汇和语法进行详细解释。
2. 每课内容均涵盖词汇、语法和问题的详细讲解。
3. 全书含有解析和实战篇，训练难度将会逐步提升。
4. 以单元课程方式对每个文章和语法进行学习和巩固。

本教程对每个知识点的讲解都是十分全面的，在文章和句子的讲解方面均有独特的应对方法，让学习者能够一通百通，在语法解释方面不仅包括对基本语法的生动讲解，还包括对容易被忽视但又特别重要的语法条目的讲解。本教程的主要使用对象是日语专业学生以及日语学习爱好者，希望大家通过本教程的学习能够不断提高自主学习的能力和阅读水平。

由于水平有限，书中难免有不妥之处，敬请各位指教。

编者

2018年5月

## 目 次

### 技 巧 篇

第一課 読解のテクニック .....	003
第二課 文章をパターン別に読もう .....	006
第三課 長文を要約しながら読もう .....	010
第四課 接続詞で文章を予測して読もう .....	013
第五課 指示語の読み方を身につけよう .....	017
第六課 文末表現に注意しよう .....	024
第七課 だれのことを言っているか .....	028
第八課 主張の読み取りに重視しよう .....	031
第九課 グラフの対策 .....	035
第十課 情報検索 .....	042

### 実 践 篇

第一課 水で健やか、飲んでダイエット .....	049
(一)短編 .....	049
(二)中篇 .....	050
(三)長編 .....	055
(四)情報検索 .....	059
(五)文法トレーニング .....	060
第二課 ダイエット食品の宣伝に中止命令 .....	064
(一)短編 .....	064
(二)中篇 .....	066
(三)長編 .....	071

(四)情報検索 .....	074
(五)文法トレーニング .....	076
第三課 革靴の雨対策 .....	079
(一)短編 .....	079
(二)中篇 .....	081
(三)長編 .....	085
(四)情報検索 .....	088
(五)文法トレーニング .....	089
第四課 なぜ高い日本の農産物 .....	093
(一)短編 .....	093
(二)中篇 .....	095
(三)長編 .....	098
(四)情報検索 .....	102
(五)文法トレーニング .....	103
第五課 気軽に声をかけましょう .....	107
(一)短編 .....	107
(二)中篇 .....	108
(三)長編 .....	112
(四)情報検索 .....	116
(五)文法トレーニング .....	117
第六課 気づかないうちに口からニオイが… .....	121
(一)短編 .....	121
(二)中篇 .....	123
(三)長編 .....	127
(四)情報検索 .....	130
(五)文法トレーニング .....	131
第七課 少年 .....	135
(一)短編 .....	135
(二)中篇 .....	136

(三)長編	141
(四)情報検索	144
(五)文法トレーニング	146
第八課 単純な生活	149
(一)短編	149
(二)中篇	150
(三)長編	156
(四)情報検索	158
(五)文法トレーニング	159
第九課 「出会い系」が招く犯罪	163
(一)短編	163
(二)中篇	164
(三)長編	168
(四)情報検索	172
(五)文法トレーニング	174
第十課 マラソンの楽しみ	177
(一)短編	177
(二)中篇	178
(三)長編	182
(四)情報検索	185
(五)文法トレーニング	186
第十一課 夜更けのなわとび	190
(一)短編	190
(二)中篇	193
(三)長編	198
(四)情報検索	201
(五)文法トレーニング	203
第十二課 バイオクリーンルームでの手術は本当に必要か?	207
(一)短編	207

(二)中篇 .....	209
(三)長編 .....	214
(四)情報検索 .....	216
(五)文法トレーニング .....	217
N3 模擬テスト(1) .....	220
N3 模擬テスト(2) .....	234
参考答案 .....	250
参考文献 .....	265



# 第一課 読解のテクニック

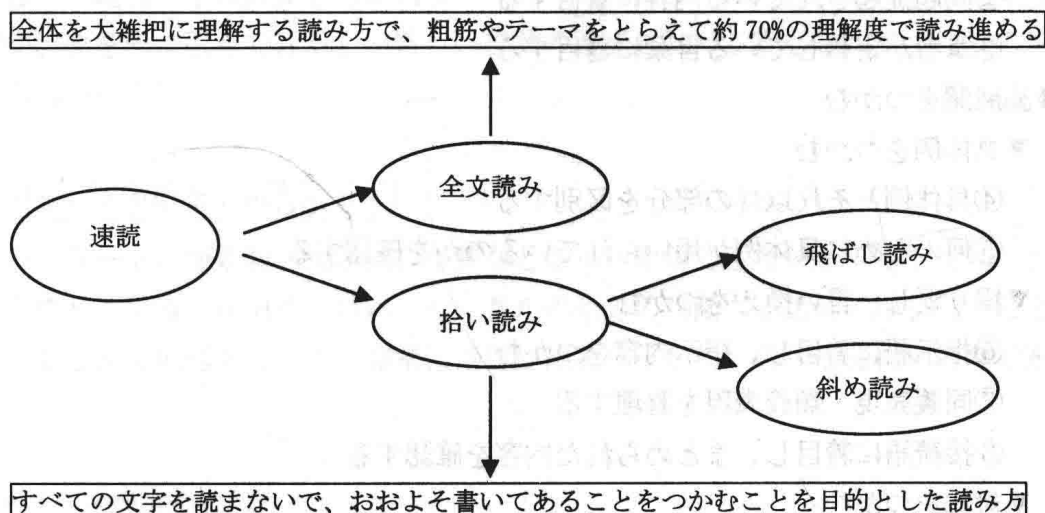
## 技巧篇

---



## 第一課 読解のテクニック

👉時間制限があるから、スピードがポイント!



👉速読の方法を身につけよう

### (1) 漢字中心に読もう

日本語には、漢字と仮名があるので、漢字に注目して読んでいけば、自然に速読することができる。漢字は表意文字であるため、イメージ化しやすいという特徴があるからだ。

### (2) 声出さずに視読しよう

通常の読書は、一文字一文字を目で追っていく「なぞり読み」であり、目の速度以上に読書速度は上がらない。声を出していなくても、頭の中で音声化して読むため、そ

の速度には限界がある。つまり、普通の読書の手順は「見る」⇒「音声化する(音読、黙読)」⇒「認識する」⇒「理解する」である。

速読は文章をブロックごとに、あたかも風景でも「見る」ように瞬間的に視野に入れ、並列的に次々と内容を「理解」していく読み方である。その流れは「見る」⇒「認識する」⇒「理解する」。つまり、認識・理解をつかさどる脳へ、文字の情報を直接受け渡す。

### (3) 着眼点に注意しながら読もう

#### ●話題をつかむ

- ①よく出てくる言葉に着目する
- ②問題提起されている内容に着目する
- ③筆者が定義している言葉に着目する

#### ●論展開をつかむ

##### ▼具体例をつかむ

- ④具体例とそれ以外の部分を区別する
- ⑤何のために具体例が用いられているのかを確認する

##### ▼繰り返し・言い換えをつかむ

- ⑥指示語に着目し、指示内容をつかむ
- ⑦同義表現・類義表現を整理する
- ⑧接続語に着目し、まとめられた内容を確認する

##### ▼対比をつかむ

- ⑨比較・対照された語句に着目し、対比されている内容を整理する
- ⑩逆接の接続語に着目し、対比されている内容を整理する
- ⑪何のために対比されているのかを確認する

#### ●主張をつかむ

- ⑫接続語や文末の表現に着目する

### (4) いい速読習慣をつけよう

- 読書中の癖をなくすこと
- 集中力をつけること
- 眼筋をきたえること
- 視野を拡大すること
- 理解力をつけること

- イメージ力を高めること

## ☞受験読解のアドバイス

### (1) 質問や注・出典などを先に読もう

●文章を読む前に、問いの全部をざっと読んでおいて、目的を持って意識的に重点を置いて答えを探す。

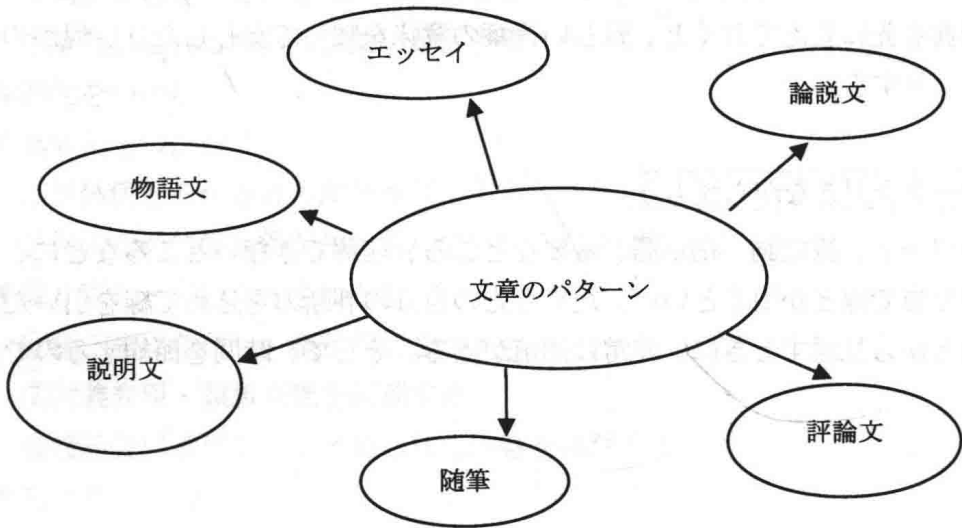
●入試に使用される文章はかならず誰かの文章を引用している。そのため、出典を明らかにするために著者名と題名が問題文の最後に書かれている。実はここに重要語句が書かれていることが多いのである。なぜなら題名は文章の内容が分かるようにつけるので題名の中に重要語句が含まれてる可能性が非常に高くなっている。だから、注や出典を先に読んでおくと、難しい言葉の意味を知って安心したり、何かのヒントがあったりする。

### (2) マークを引きながら読もう

キーワード、接続詞、指示語、重要なところ、理解できないところなどに、自分なりのやり方で線とか引くといい。たくさんの自分の判断力を込めて線を引いたところは、あとから見返すときに、非常に価値が出る。そして、時間を節約するのである。

## 第二課 文章をパターン別に読もう

👉まず文章のパターンを判断しよう!



### 【説明文の一例】

皮膚は主に3つの層からなっています。3つの層とは、外界に近い方から順に「表皮」・「真皮」・「皮下組織」で、一般的に表皮と真皮をあわせて「皮膚」、皮下脂肪や筋肉を「皮下組織」と呼ぶことが多いようです。

皮膚には被毛を生み出す毛包（毛嚢：皮脂腺を含む）や汗を排出する汗腺などの附属機関が存在しています。（人間の場合）また、真皮には毛細血管網が入り込んでいます。

### 【論説文の一例】

中国・四川省の地震被災地から、生々しい、悲しみに満ちた報道が届く。きのう本紙に載った一枚の写真に、とりわけ心が痛んだ。2人の手が大写しにされて、「学校

倒壊で亡くなった犠牲者の手を握りしめる家族」と説明があった。

経済はその後加速し、貧富の格差はさらに開いた。現地に入った本紙記者は、貧しい地域や人への被害が大きいと伝えている。土壁や、日干しレンガを積み上げた粗末な建物は、激しい揺れにひとたまりもなかった。

自然に厚薄なし、と中国で言うそうだと。自然は人を分け隔てしない、と。地震の揺れもわかりだろう。だが、自然は公平でも、人間の側に様々な不公平がある。そのひずみを、天災はあぶり出す。

人に過酷な自然の営みが相次ぐ。ミャンマーで起きた水害の死者、行方不明者は6万人にのぼっている。死者の4割は子どもだという報告もある。軍事政権はいまでも各国の人的援助を拒み、被災者の苦難に追い打ちをかけている。こちらは天災があぶり出したひずみの、最も愚かな一つであろう。

(出典：2008年5月17日 『天声人語』)

### 【エッセイの一例】

彼はいつも門扉の内側で子猫や妻と一緒にいる。エネルギーがあり余っている子猫に、背後から飛び蹴りをされても、怒ることなくじっと耐えている。尻尾をうまく動かして、じゃれつかせたりもしている。そして美人の妻は一步下がってその姿を眺めている。「ブタ夫も幸せになってよかった」と思いつつ、私はブタ夫がどうやってあの美人妻をものにしたのか、知りたくてしょうがないのである。

(出典 『ネコの住所録』「追いかけて」群ようこ)

## 👉パターンそれぞれの読み方を身につけよう!

### (1) 物語文読解のコツ

物語文では、登場人物の置かれた状況とは、よく「いつ」「どこで」「だれが」「何をしたのか」そして「それはなぜか」「そしてどうなったのか」、つまり、「WHEN」「WHERE」「WHO」「WHAT」「WHY」「HOW」という5W1Hに集約される。

【実践の例】新聞記事という常用体裁を例にして、**5W1H**という読み方で読んでみよう。

5月9日午前11時ごろ、JR山田駅事務所から出火、火は壁から燃え広がって鉄筋コ

WHEN(いつ)

WHERE(どこ)

ンクリート建て駅舎500平方メートルのうち事務所室内部50平方メートルを焼いた。

WHAT(何)

この火事で駅員3人がやけどを負った。山田消防署は5台の消防車を出動させて消火に当

たり、火は20分ほどで消えたが、この火事の影響で山手線、京浜東北線の列車ダイヤ

結果と影響

が2時間にわたって乱れた。原因は、山田署などの調べによると、駅員のタバコの火

の不始末と見られている。

## (2) 論説文の読み方

### 論理展開の仕方(文章の特徴)

主張(抽象)	…	筆者が最も言いたいこと。
↓	↑	
説明(具体)	…	主張を読者に納得させる役割を果たす。 ※筆者の主張も含まれるが、最終的に主張したいことではない。
↓	↑	
「説明(具体)」 の説明	…	上記の「説明(具体)」を説明する。つまり、自分の主張を読者に理解してもらうために用いた例などが、それが正しいということを証明する。

## (3) 説明文の特徴

筆者は自分の主張を、読者に理解してもらうために様々な工夫をして説明する。その説明のされ方は4つのパターンに分類される。

### 説明のされ方

(1)	例を使う	「例えば～」があると分かり易いが、ない時が多い。最もよく使われる説明の手段。
(2)	言葉を変えて繰り返す	先の「論理展開の仕方(文章の特徴)」にもあるように、大抵、主張は繰り返されるわけだが、表現を若干変えることが多い。が、当然ながら変わるのは「表現」だけで、主張の「内容」は変わらない。
(3)	比較する	あることと比べることで、主張に説得力を持たす方法。「一般的な考えと自分の考え」を比較するのが最もよくあるパターン。他、「今と昔」「日本と西欧」を比較するパターンなど。
(4)	体験談を文中に入れる	体験談をもとに主張を展開する。これについては「随筆」というジャンルで区切られる。



## ☞ 文の特徴も常に意識しよう!

論説文といい、説明文といい、主に3種類の文から構成されている特徴がある。この3種類の文をしっかりと区別して読むことが説明文・論説文を攻略する鍵になる。

### (1) 筆者の主張が書かれている文

⇒その文章で筆者が言いたいことであり、説明文・論説文の中で最も重要な文である。だから、文章を読む上では「どこが筆者の主張の文なのか」を気にしながら読むことが大切である。

### (2) 事実が書かれている文

⇒一般的に知られていることが書かれており、設問を解く上ではさほど重要ではない。

### (3) 具体例が書かれている文

⇒筆者の主張をわかりやすく説明するための文である。文章の内容を理解する上ではさほど重要ではないが、設問を解く上では重要である。